

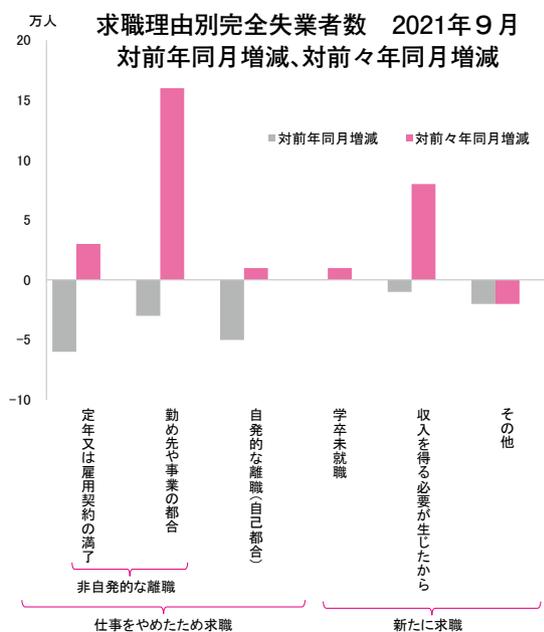
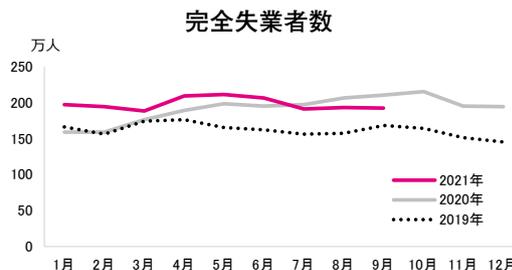
ちょっと気になるデータ

完全失業者の状況

— 労働力調査(基本集計)結果から —

2021年10月29日に、総務省統計局から2021年9月分の「労働力調査(基本集計)」結果が公表された。その中から完全失業者の結果を紹介する。

9月の完全失業者数は192万人で、前年同月に比べて18万人の減少となっている。2020年2月以降17か月連続で前年同月と比べて増加していたが、2021年7月に減少に転じて以降は減少が続いている(7月6万人減



少、8月13万人減少、9月18万人減少)。一方、前々年(2019年)同月と比較してみると増加が続いており、9月は24万人の増加となっている。

完全失業者を求職理由別にみると、「非自発的な離職」56万人(うち「定年又は雇用契約の満了」20万人、「勤め先や事業の都合」37万人)、「自発的な離職(自己都合)」74万人、「新たに求職」47万人(うち「学卒未就職」5万人、「収入を得る必要が生じたから」27万人、「その他」15万人)となっている。

対前年同月増減では「学卒未就職」以外の理由は減少となっているが(「学卒未就職」は対前年同月増減0万人)、対前々年同月増減では「その他」以外の理由は増加となっている。

主な求職理由について2019年以降の推移をみると、「勤め先や事業の都合」は2020年2月以降、「収入を得る必要が生じた」は2020年3月以降、2019年を上回って推移している。(調査部 統計解析担当)

